

## 診療科紹介

## 救急総合診療科とは？



救急総合診療科  
部長 坂口 治



最近、多くの病院で救急総合診療科を作る動きが出てきています。複雑に専門分化された診療科では、患者さんのニーズに答えきれないことがわかってきたからです。

例えば、**急に発熱と腰痛が出現した時はどこにかかれば良いのでしょうか?**内科にかかれば、それは整形外科だと言われるかもしれませんし、整形外科にかかれば、それは内科だと言われるかもしれません。内科も呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、膠原病内科、腫瘍内科、腎臓内科など専門に分かれています。どの科にも腰が痛くなり熱が出る病気があります。そこで、**救急総合診療科**が登場します。ここでは、**たくさんの病気やケガの可能性の中から、腰が痛くて熱が出る病気を探っていきます。**一つの病気で発熱と腰痛が出現している場合もありますし、別々の病気がたまたま同時に発生している場合もあります。診断が出ればそれぞれの専門医と相談しながら治療を開始します。このように、**疾患にとらわれない全人的医療を行うのが救急総合診療科**です。

救急総合診療科は、ご自身では診療科を特定するのが困難な方や、複数の疾患や外傷をお持ちの患者さんを中心に診療を行っています。ケガから病気まで、救急でも救急じゃなくても、なんでもまずは診察します。是非、便利にお使いください。

## 西宮渡辺心臓脳・血管センター 開院記念・新体制

### 「理事長 ご挨拶」 社会医療法人 渡邊高記念会 / 理事長 佐々木 恭子



6月1日は「西宮渡辺心臓脳・血管センター」、「西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院」、「疾病予防運動施設健康塾」、「介護老人保健施設ハートケア」、私共法人が運営する二つの病院と一つの施設の開院記念日です。

西宮渡辺心臓脳・血管センターと健康塾、ハートケアの設立は2006年ですから16周年を、リハビリテーション病院の設立は2018年ですからこちらは4周年を迎える事となります。心臓脳・血管センターは急性期の心筋梗塞や脳卒中の治療を専門に行う病院で、リハビリテーション病院はその名の通り回復期の脳と心臓のリハビリを専門とする病院です。この二つの病院に疾病予防運動施設の健康塾を合わせれば、心臓と脳そして血管疾患の救命に関わる高度急性期からリハビリテーション、そして予防に至るほぼ全てに対応可能な阪神間で唯一の専門医療機関となります。2019年12月1日に施行された「健康寿命の延伸を図るための脳卒中心臓病その他の循環器に係る対策に関する基本法」は高齢化社会に於いて可能な限り健康で自立した生活を営む事への願いを込めた法案です。死亡原因の2位と3位を占める脳血管疾患と心疾患で亡くなる方は毎年約31万人、要介護の原因の20%を占める疾患でもあります。コロナ禍での昨年度の死亡数は前年比で6万人

の増加となりましたが、この増加は主に心不全、脳卒中の増加と自殺者の増加だと言われています。

我々の責任は重大です。脳卒中や心臓病は適切な食事や運動、生活習慣の改善によって予防可能な疾患でもあり、法案の第二条基本理念では喫煙行動の規制や食生活の改善と運動、更には適切且つ継続的な循環器リハビリテーションを奨励し健康長寿を目指す事をうたっています。第6条国民の責務では生活習慣や肥満の改善と共に高血圧や糖尿病、脂質異常、更には心房細動予防の必要性が言われています。昨年度は東灘に生活習慣病と循環器内科、心臓リハビリを行うセンター附属クリニックを開設しました。

センター内の健康テラスでは栄養相談、各種健診の相談もお受けしています。外来での心臓リハビリやセンター附属訪問看護ステーションと連携した訪問リハビリも行っています。健康塾では専門トレーナーによる個人レッスンやピラティスなど、体力に自信のない方も参加可能なグループレッスンも行なっています。健康長寿社会を目指す取り組みは地域コミュニティ創出の要であると信じています。ご協力ご支援の程宜しくお願い致します。

皆様のご多幸を心よりお祈り致します。

### 「管理者 ご挨拶」 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 管理者 増山 理



西宮渡辺心臓脳・血管センターの創立16周年、おめでとうございます。

永年当センターで働いて来られた職員の皆さまに心よりお慶びを申し上げます。16年間たゆまず成長してこられたのは、『敬天愛人』～命を敬い人を愛する医療の実践～という病院の理念が地域の皆さまに受け入れられてきたからだろうと思います。

私は、今年の4月に当センターに赴任してきました。期間としては、16年間のうちの1%の貢献ということになります。今後も病院の理念を高いレベルで達成できるよう、貢献したいと考えております。

循環器診療という視点でみると、当センターは放射線装置、超音波装置などを含め最新鋭の機器が整備されて

います。装置が素晴らしければいい医療を提供できるかというと、必ずしもそうとは言えません。それを使う人が十分な技術をもって使いこなすことが必要です。そしてさらには、スタッフひとりひとりが、「患者さんの力になろう」という心を持つことも重要です。技術を教育することは比較的容易ではありますが、心の教育というのは必ずしも容易ではありません。私は、2カ月間この病院で働き、職員の多くの方々が暖かい気持ちを持って患者さんに接しておられていることを知りました。

今後も当センターのソフト面のいいところをさらに伸ばし、また悪いところは改善していきたいと思っております。地域の皆さまにおかれましては、今後とも暖かい支援をお願い申し上げます。

### 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院

## 形成外科・美容医療センターからのお知らせ

年齢を経るにしたがって徐々に増えてくる、お顔周りや首にできるイボが気になって受診される方が、たくさんいらっしゃいます。これは多くの場合『脂漏性角化症』といわれる良性的なもので、首にできるものは『アクロコルドン』と呼ばれることもあります。健康保険でも治療は可能で、その時は液体窒素といわれるお薬を使って処置をしますが、処置後に治療部位に茶色く色素沈着ができることが多いのが難点です。そこで、少しでもきれいに取りたい方々のために、当センターでは炭酸ガスレーザーによる治療を行うことができます(自費診療)。表面麻酔を行った後にレーザーで除去していきますが、手術のキズアトを最小限に治療していきます。気になる方は、ぜひカウンセリングにお越しください。保険診療、自費診療のいずれもの治療方法から、あなたに合った治療法をご提案します。

### 第3回 お顔のイボ取り

#### 顔面脂漏性角化症



治療前 治療後2カ月

当センターでの症例は、**Instagram**でご覧いただくことができます。ぜひご覧ください。



#西宮渡辺美容症例 で検索

詳細はHPをご覧ください <https://www.maehama-clinic.jp/>

お問合せ先 ☎ **0798-39-0215**



## 法人関連施設

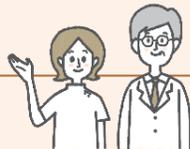
- **社会医療法人 渡邊高記念会** / 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 / 西宮渡辺心臓リハビリクリニック / 西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニック / ハートケア西宮わたなべ福祉の郷 / 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所わたなべ / グループホーム西宮わたなべ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり / すくすく保育 / 訪問看護ステーション西宮わたなべ / 居宅介護センター西宮わたなべ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 健康塾 / 西宮市中央在宅療養相談支援センター / 西宮渡辺心臓脳・血管センター附属訪問看護ステーション

- **社会福祉法人 高明会** / シルバートピア西宮 / 居宅介護支援センターはまかせ

わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

当院各階詰所・1F受付に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。

【発行元】社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部 【TEL】0798-74-2630 【FAX】0798-74-7257 【URL】<http://www.n-watanabe-hosp.jp/>



西宮渡辺心臓脳・血管センター

副管理者 渡邊 慶明



6月1日は、西宮渡辺心臓脳・血管センターの開院日であり、創設者である祖父の誕生日でもあります。今年の6月1日で、心臓脳・血管センターは創立16周年を迎えます。この病院ができたとき、私はまだ大学生でした。今も新型コロナウイルスへの対応で大変ですが、できた当時もいろいろ大変でした。そんな中、まずは今、病院長をされている吉田先生がいらっしゃって、それから、いろいろな人の力もお借りして、祖父が理想とした「地域の人の役に立つ」という理想をかなえるのにふさわしい病院になりつつあると思います。現在、幸いなことに新型コロナは収まりつつありますが、今度はウクライナでの戦争が我々の生活に影響を及ぼしています。これに限らず、これからも様々な“大変なこと”が起きると思います。それでもこの病院は16歳とまだまだ高校生ぐらいの若い病院です。“大変なこと”を乗り越え、より大きな存在になれる柔軟性、力がまだまだあると思います。私もより良い病院にできるよう微力を尽くします。できれば、皆様におかれても引き続き、ご助力、ご支援いただけたら幸いです。これからもよろしくお願い致します。

西宮渡辺心臓脳・血管センター

院長 吉田 和則



平成20年1月、心臓血管外科責任者として赴任し、令和3年7月、社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺心臓脳・血管センター病院長に就任致しました。これまでの道のりは、決して平坦なものではなく、院内外問わず、沢山の方々のお力で、阪神南地区の中核医療機関になるまでに成長できました。

そのため、当地域で暮らす人々の安心安全を守るのに、救急医療だけでなく地域医療に対しても、高度な医療を提供し続ける事で、社会貢献を継続する責務がございます。

医療を取り巻く情勢やニーズの変化を見せておりますが、循環器疾患は、退院が終わりではなくスタートであるとの観点から、急性期だけでなく慢性期・維持期においても質の高い診療を多職種で、途切れる事のないシームレスな連携が行える様に努めたいと思います。これからも皆様のご指導ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

西宮渡辺心臓脳・血管センター

副院長 中尾 佳永



令和4年4月より、社会医療法人 渡邊高記念会 西宮渡辺心臓脳・血管センターの副院長に就任しました中尾佳永です。私は平成30年9月に当センターに赴任しました。今までは心臓血管外科の一員として、仕事を行ってききましたが、今後は当センター、法人の為にどのようなことが出来るかをよく考え、また当院で治療を受けて頂く患者様により安心して医療を受けて頂ける様、多職種が協力し高め合える職場づくりを達成出来ればと考えております。これからも皆様のご指導ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



西宮渡辺心臓脳・血管センター

副院長 合田 亜希子



2022年4月に赴任いたしました早くも2か月が過ぎ、急性心筋梗塞などの虚血性心疾患をはじめ、弁膜症などによる心不全の患者様にも最新の高度な医療を提供している当センターで充実してお仕事をさせていただいています。急性期医療から外来、リハビリテーション、在宅、疾患予防までがつながるセンターの体制は、患者様を中心にした理想的な医療を提供できる環境であると実感しています。これからもさらに地域の皆様の健康維持に貢献できるよう、職員の皆さんと一緒に考え、地域の先生方との連携も深めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



西宮渡辺心臓脳・血管センター

副院長 藤田 博



令和4年4月より、西宮渡辺心臓脳・血管センターの副院長に就任いたしました藤田博です。私は、京都府立医科大学卒業後、京都第二赤十字病院循環器内科部長、京都府立医科大学附属北部医療センター循環器内科部長などを経て、主に心血管インターベンション医として診療して参りました。当センターは設備や施設が充実しており、各領域の専門医とともに最高レベルの医療の提供が可能な病院です。今まで培ってきた経験・能力を最大限発揮できるように、精進したいと思います。さて、当センターの理念は「敬天愛人」です。大変奥深い意味の言葉です。天を敬い人を愛するとはどういうことなのか、この世のすべての事象を尊いものとして賛美し敬うと同時に、人に対しても慈愛をもって接することとなります。当センターが掲げる「信頼でき安心できる病院として地域の人々の健康と福祉に貢献する」という志を職員全員が共有して、職場にポジティブな明るい空気を生み出していきましょう。

西宮渡辺心臓脳・血管センター

副院長 大森 一美



当センターは設立16周年を迎え、また脳卒中センターは開設7年が経過し、今日では阪神地域の心臓・脳疾患救急医療を24時間支えている「無くてはならない病院」と自負しております。さらに増山先生、藤田先生、合田先生をはじめとする循環器内科Drの増員もあり、より一層の飛躍が期待できると考えております。

一方、当センターでは地域医療に力を注ぐのみならず、遠方からも多くの患者さまに受診いただいております。当センターでほとんどの治療が完結できる、いわゆる「高度先進医療」の役割も担っております。

今後もこの地域において「無くてはならない」施設であり続けながら、最先端の医療を提供できるよう努めてまいります。

西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院

開院記念ご挨拶

西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院

院長 植田 昌平



当院は、前浜町にある複合施設「ハートケア西宮わたなべ福祉の郷」に2018年に開院し、6月1日に4周年を迎えました。心臓・脳血管疾患に特化したリハビリ病院として回復期リハビリテーション病棟の運営を行ってまいりました。昨年の11月に26床から34床に増床となりましたので、さらに質の高い充実したリハビリを提供できるようにスタッフ一同頑張っております。

併設している外来心臓リハビリテーション部門は、西宮渡辺心臓脳・血管センターとも連携して急性期後や慢性心不全に対する心臓リハビリを行っております。

また、昨年1月の形成外科・美容医療センターの開設に続き、本年1月から婦人科・女性医療センターが開設され、特に女性に対する診療の幅が広がりました。

この4階建ての複合施設は2013年に建設されており、当初から介護老人保健施設「ハートケア西宮わたなべ」も入っています。通所リハビリも行っており、コロナが早く終息して、私たちの本来の役目である医療・介護の充実したサービスが気兼ねなく提供できるような環境に戻れることを願っています。

これからも前を向いて邁進してまいりますので、どうぞ皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

